

令和 5 年度事業計画

令和 4 年度も新型コロナウイルスの脅威は続き、度重なる変異の過程で弱毒化傾向により重症率は下がるも、感染力の強さは増大し、10 月以降の感染拡大 8 波では会員施設の大 half で大規模なクラスターが続出した。また、療養期間の見直しはあったが、複数回のクラスターや収束まで長期化する傾向も見られ、通所リハビリの営業中止や施設サービスの規模縮小等在宅支援サービスへの影響も大きく、ケア体制の維持はもとより稼働低迷により運営面でも非常に厳しい状況となっている。

5 類移行後も介護現場での感染対策自体は従来手順の踏襲を想定するが、社会活動の変化や諸基準の緩和・見直しを受け、当協議会の事業活動においても対面・集合の再開とオンラインの併用・切り替えにより、職員間の相互コミュニケーション促進機会を確保しつつ、利便性と温度感の向上を目指す。

各研修事業においては、これまでの参加者傾向やニーズを踏まえ、新たにスキルアップ・キャリアアップ研修として位置付けし、5 類移行後の感染動向への備えや自立支援型のケア実践の知見向上について研修を実施。また、看護・リハビリ専門職による老健施設における看護・リハビリアプローチについて考える機会を設け、グループワークや実践報告等による交流研修を企画する。

第 30 回の節目となる北海道老人保健施設大会については、AI やエビデンスをテーマに盛り込み、新時代の老健介護に向けた企画として、4 年ぶりの集合開催を再開予定であり、加えてオンデマンド配信の併催により会員施設の利便性を高め、広く参加を募る。

その他、会員施設職員の声を反映し、当協議会の活動を広く・身近に知ってもらうため、機関紙老健ほっかいどうの誌面企画と連動したホームページリニューアルの取り組みを進める。

新型コロナの影響に加え、水光熱はじめ原材料等高騰による物価高が続き、かつてない厳しさの経営環境に置かれているが、令和 5 年度においても会員施設の運営基盤の安定とケアの質担保の両立に寄与すべく、当協議会の役割りを再認識し、事業活動を遂行していく。

I 事業方針

定款第3条目的「北海道における介護老人保健施設関係者が協力し、相互理解のもとに、介護老人保健施設の資的向上と相互の研鑽を図ることを目的とする。」に従って、以下の事業を行う。

- 1、介護老人保健施設関係者に有用な情報の提供・交換に資する事業
- 2、介護老人保健施設関係者に対する研修事業
- 3、北海道老人保健施設大会の開催
- 4、関係機関および関係団体との連携に資する事業
- 5、公益社団法人全国老人保健施設協会との連携に資する事業
- 6、前各号に附帯する一切の事業

II 事業内容

- 1、介護老人保健施設関係者に有用な情報の提供・交換に資する事業
 - 1) ケアの質向上ならびに運営の安定に寄与し得る情報の提供
 - 2) 行政ならびに関係団体等から依頼のあった情報の発信
 - 3) ホームページを活用した情報提供
 - 4) 地域研修活動および連携促進等の奨励を目的とした助成
 - 5) 機関誌「老健ほっかいどう」の発刊（定期2回／年）を通じたケアの質向上ならびに会員相互の連携に資する情報の発信

2、介護老人保健施設関係者に対する研修事業

1) キャリアアップ研修

開催日：令和5年6月17日（土） 10：00～12：00

開催形式：オンライン研修

テーマ：5類移行後のコロナ最新情報とBCP作成のポイント（仮）

講師：北海道医療大学 看護福祉学部 教授 塚本 容子氏

配信会場：北農健保会館

〒060-0004 札幌市中央区北4条西7丁目1-4

TEL 011-261-3270

対象：会員施設および同一法人の関連施設の中堅職員ならびにリーダー・管理職や感染症対策に携わる職員等

参加費：5,000円／施設

2) スキルアップ研修

開催日 : 令和5年9月9日(土) 13:00~17:00
開催形式 : オンライン研修
テーマ : 「動き出しは本人から」～実技編～
講師 : 日本医療大学保健医療学部リハビリテーション学科
作業療法学専攻 大堀具視 教授
配信会場 : 介護老人保健施設月形緑苑
〒061-0502 樺戸郡月形町 81-72
TEL 0126-53-2222
対象 : 会員施設職員および同一法人の関連施設職員
参加費 : 5,000円/施設

3) ステップアップ研修

開催日 : 令和5年10月28日(土) (時間調整中)
開催形式 : 集合またはオンライン研修
テーマ : 「老健施設で働くためのメンタルヘルスケア」
講師 : 札幌 CBT&EAP センター 公認心理師 中村 亨 先生
開催場所 : 北農健保会館
〒060-0004 札幌市中央区北4条西7丁目1-4
TEL 011-261-3270
対象 : 会員施設職員および同一法人の関連施設職員
参加費 : 5,000円/施設

4) 看護・リハ職交流研修 (企画調整中)

開催日 : 未定 (令和6年1~2月頃)
開催形式 : オンライン開催
内容 : 介護老人保健施設の看護アプローチ・リハビリアプローチ
道老健協看護・リハ委員のコーディネーターによる座談会
・グループ討議等

3、北海道老人保健施設大会の開催

第30回北海道老人保健施設大会

日程 : 令和5年10月14日(土)
オンデマンド視聴期間・10月30日(月)~11月13日(月)
開催形式 : 集合開催およびオンデマンド配信
参加者 : 会員施設職員
参加費 : 3,000円/人(現地参加)、10,000円/施設(オンデマンド視聴)

テ ー マ : 老健介護の新時代 ～エビデンスの基づく AI 介護の理解～
内 容 : 基調講演・特別講演・演題発表・賛助会員出展等

4、関係機関および関係団体との連携に資する事業

- 1) 行政ならびに関係団体等からの依頼に基づく委員等の推薦
- 2) 行政ならびに関係団体等からの依頼に基づく意見協力
- 3) 行政からの依頼に基づく非常災害・感染拡大時における応援職員の派遣に関する発信・調整協力
- 4) 関係団体が開催する大会等に対する後援
- 5) 関係団体の開催する研修会等への講師派遣・紹介

5、公益社団法人全国老人保健施設協会との連携に資する事業

- 1) 第 34 回全国介護老人保健施設大会 宮城
日 程 : 令和 5 年 11 月 21 日 (火) ～22 日 (水)
会 場 : 仙台国際センター (宮城県仙台市)
テ ー マ : 地域共生社会の復権と老健 ～デジタル化時代の絆～
- 2) 全国老人保健施設協会からの委託事業、依頼協力
- 3) 北海道・東北ブロック会議等の参加、連携・交流

6、前各号に附帯する一切の事業

1) 総会 (定期・臨時)

- | | | |
|-------|----|----------------------------|
| ①定期総会 | 日程 | : 令和 5 年 6 月 |
| | 会場 | : 未定 |
| | 内容 | : 令和 4 年度事業報告・決算報告
役員改選 |
| ②臨時総会 | 日程 | : 令和 6 年 3 月 |
| | 会場 | : 未定 |
| | 内容 | : 令和 6 年度事業計画・予算計画 |

2) 理事会 (役員会)

定例 (年 2 回) および臨時に会議を開催し、緊急に対処すべき課題ならびに事業計画の執行について検討・協議・決定を行う。

3) 事務連役員会

定例 (年 4 回) および臨時に会議を開催し、役員会での協議・決定事項を受け、各委員会活動等との内容を調整。事業計画の執行について詳細な企画を立案し、

各種研修事業および大会の運営を行う。

4) 各部会（総務部会・広報・組織部会、大会・研修部会）

定例（年2回）および臨時に会議を開催するとともに、以下の活動を行う。

①総務部会

事業計画・予算決定、関係団体との連絡協議、会則・諸規定の制定改正、北海道社会貢献賞ならびに厚生労働大臣表彰被表彰者の調査・取りまとめを行う。

②広報・組織部会

ホームページの管理・更新についての管理およびリニューアルに取り組み、内容の充実を図り、広報機能を強化する。また、機関誌「老健ほっかいどう」の企画・編集・発行および全老健の広報活動等への企画協力、各種調査・資料作成、組織の育成や会員施設への助言等を行う。

③大会・研修部会

北海道老人保健施設大会および各研修事業の企画・運営を行う。また、事業活動の充実および質向上に資する調査研究等を行う。

5) 各委員会

それぞれ年1回以上委員会を開催し、事務連と共同で以下の活動を行う。

①看護介護委員会

看護および介護職員の質の向上を図ることを目的に、大会・研修事業の企画および運営に参画するとともに、介護老人保健施設における看護および介護ケアの質向上に係る活動を行う。

②リハビリテーション委員会

リハビリテーションの質の向上を図ることを目的に、大会・研修事業の企画および運営に参画するとともに、会員施設間におけるリハビリスタッフの交流を促進するための活動を行う。

③認知症介護実践研修運営委員会

認知症ケアの質の向上を図ることを目的に、認知症介護実践研修（実践者課程・リーダー課程）の企画・運営を行う。また、研修受講者に対するフォローアップ活動を行う。